

## 第3回カーボン・オフセット大賞「経済産業大臣賞」受賞

大阪ガスの  
J-クレジット制度を活用した取組

大阪ガス株式会社 エネルギー事業部 計画部 濱田 未知氏

高効率ガス機器の導入促進と  
J-クレジット制度の活用

大阪ガスでは、ボイラー、コージェネレーション、ガス冷暖房などの天然ガスを燃料とする高効率ガス機器を提案・導入促進することにより、お客さまのCO<sub>2</sub>削減を支援しています。

天然ガスは、石油や石炭といった他の化石燃料と比較し、CO<sub>2</sub>排出量が少ないことが特徴であり、例えば、ボイラーの燃料を石油から天然ガスに変更することで、CO<sub>2</sub>排出量が約25%削減されます。このようにして高効率ガス機器を導入されCO<sub>2</sub>を削減されたお客さまから、J-クレジット制度※を活用し、CO<sub>2</sub>排出枠をクレジットとして取得しています。これまで大阪ガスが排出削減事業共同実施として制度参加した案件は、累計31件、取得したクレジットは総量3.3万tとなります。購入したクレジットは、環境自主行動計画の目標達成、温対法報告への反映（調整後排出量）、カーボン・オフセットなどに活用することができます。大阪ガスでは、お客さまから取得したJ-クレジットを「関西

の中小企業省エネ対策と地元スポーツチームのカーボン・オフセット活動」阪神タイガース、セレッソ大阪のCO<sub>2</sub>ゼロ試合」に活用しています。この取組は、地元関西のスポーツチームである阪神タイガースさま・セレッソ大阪さまがそれぞれのホームグラウンドで開催する試合において、排出されるCO<sub>2</sub>を地元企業の創出したクレジットでカーボン・オフセットするという「クレジットの地産地消」を目指した取組みです。

この度、この取組が『第3回カーボン・オフセット大賞』において、経済産業大臣賞を受賞しました。主な受賞理由としては、次に挙げる2点について評価いただきました。

①クレジットの地産地消を図り、顧客である地元の中小企業の省エネルギー化、低炭素化の促進にも寄与することで他の模範となる継続的なモデルを構築している点。

②関西のスポーツチームの知名度を活用して、選手を起用したプレス発表など、カーボン・オフセットの社会的認知度の向上、普及促進の取組にも力を入れている点。以下に、受賞した阪神タイガース



カーボン・オフセット大賞 授賞式（'14/3/4東京国際フォーラム）

さまとセレッソ大阪さまのとの取組について、詳しくご紹介いたします。

## 関西スポーツチームとの

## カーボン・オフセットの取組み

## 【事例】阪神タイガース

「CO<sub>2</sub>完全ゼロ試合」

2013年夏季、阪神タイガースさまの試合から排出されるCO<sub>2</sub>を、カーボン・オフセットにより実質ゼロとする取組です。これまでに、阪神甲子園球場さまと阪神タイガース

【概要】

|                          |                              |
|--------------------------|------------------------------|
| 対象期間                     | 2013年7月26日～9月1日              |
| 対象となる試合                  | 対象期間に阪神甲子園球場で開催される9試合        |
| 対象となるCO <sub>2</sub> 排出源 | 電気・ガス・水道の使用<br>ごみの廃棄、観客の移動   |
| CO <sub>2</sub> 排出量      | 1,115 t (一般家庭293世帯の年間排出量に相当) |

さまは、公共交通機関による来場の推奨、球場内で販売する飲料カップのリサイクル推進などにより、地球環境問題に取り組んでおられます。大阪ガスはこの取組に賛同し、これまでに取得していたクレジットを用いて、対象試合から排出されるCO<sub>2</sub>をオフセットしました。

2013年7月31日に行われた阪神対中日戦では、「CO<sub>2</sub>完全ゼロ試合 ガ・スマート！ナイター」を実施し、球場敷地内でトラックや

大阪ガスのマスコットキャラクター「えねまる」によるイベントなどにより、多くの来場者にCO<sub>2</sub>削減への関心を高めていただくことができました。

【事例】セレッソ大阪

「CO<sub>2</sub>ゼロチャレンジ」

「CO<sub>2</sub>ゼロチャレンジ」は、セレッソ大阪さまが温暖化防止のために開始された取り組みで、チームおよび選手がCO<sub>2</sub>削減に取り組み、その活動がサポーターにも拡大することを期待するものです。

大阪ガスは、セレッソ大阪のパートナーカンパニーであるヤンマー株式会社さまと共同で、セレッソ大阪



スキーム

【概要】

|                          |                                       |
|--------------------------|---------------------------------------|
| 対象期間                     | 2012年度～継続中                            |
| 対象となる試合                  | ヤンマースタジアム長居、キンチョウスタジアムで開催される全試合       |
| 対象となるCO <sub>2</sub> 排出源 | 電気・ガス・水道の使用<br>ごみの廃棄、観客・スタッフの移動       |
| CO <sub>2</sub> 排出量      | 1,434 t (2013年度実績。一般家庭378世帯の年間排出量に相当) |

おわりに

さまがホームで開催する全試合から排出するCO<sub>2</sub>をJ-クレジットを活用してカーボン・オフセットし、「CO<sub>2</sub>ゼロチャレンジ」を応援しています。この取組では、大阪府内の企業が高効率ガス冷暖房システム「ガスヒートポンプエアコン」を導入することで得られたクレジットなどを活用してオフセットしています。

ご紹介した通り、大阪ガスは、高



スキーム

効率ガスシステムの導入により企業のCO<sub>2</sub>削減を促進するとともに、企業から取得したクレジットを活用したさまざまなイベントのカーボン・オフセットによって、地球温暖化防止に取り組んでいます。今後もCO<sub>2</sub>削減への取組みをはじめとして、地球環境への貢献に取り組んでいきたいと考えています。

※省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度であり、経済産業省・環境省・農林水産省によって運営されている。2013年、それまでの国内クレジット制度とオフセット・クレジット（J-VER）制度が統合してスタートした。本文中、「国内クレジット」の表記も、現制度の「J-クレジット」に統一して表記している。